

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 2 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	竹バイオマスエネルギー利用促進事業	
補助事業者名	鹿児島県	
補助事業の概要	竹バイオマスエネルギーの既存発電所での燃料利用に向け、県内の竹を用いた混合燃焼試験・成分分析を実施し、その実証結果及び今後の利用を普及促進するための、事業体制の構築等について検討を行った。	
総事業費	19,241,619円	
補助金充当額	19,241,619円	
定量的目標	<p>○ 竹バイオマスを利用した混焼発電事例の増加</p> <p>発電事業者に対し、混合燃焼試験結果等の科学的データを示し、クリンカ・塩素に対する不安を払拭することで、各発電施設で実施可能な混焼比率の最適化が図られ、混焼による発電・新たな設備の導入促進が図られる。</p> <p>また、施設の導入により、現状、利用されず放置され、森林環境の悪化を招いている竹の有効利用が図られることで、伐採からエネルギー利用のための燃料製造等といった新たな産業の振興・雇用の創出等が図られ、持続的かつ自立的な地域の発展につながるものとする。</p> <p>既存発電所で混焼による発電開始する者の増加 現状：0者 → 2023年度以降：1者</p>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>発電事業者に対し、混合燃焼試験結果等の科学的データを示し、クリンカ・塩素に対する不安を払拭することで、既存発電施設で実施可能な混焼比率の最適化が図られ、混焼による既存発電所での燃料利用に向けた環境整備を進めることができた。</p> <p>また、今回の実証試験により今後の方向性や課題が把握することができたため、今後も竹バイオマスエネルギー利用のモデル化を図り、発電原料として竹バイオマス活用の実用化に向けた取組を引き続き実施する。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	竹バイオマスエネルギー利用化実証研究事業
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社三菱総合研究所
	契約金額（間接補助金額）	19,115,800円

来年度以降の事業見通し	実証研究等を基に県内の既存発電所で混合燃焼試験を実施し、試験結果を検証するとともに、産学官で構成する協議会において、竹バイオマスエネルギー利用の普及促進策等について検討を行う。
-------------	--

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。